

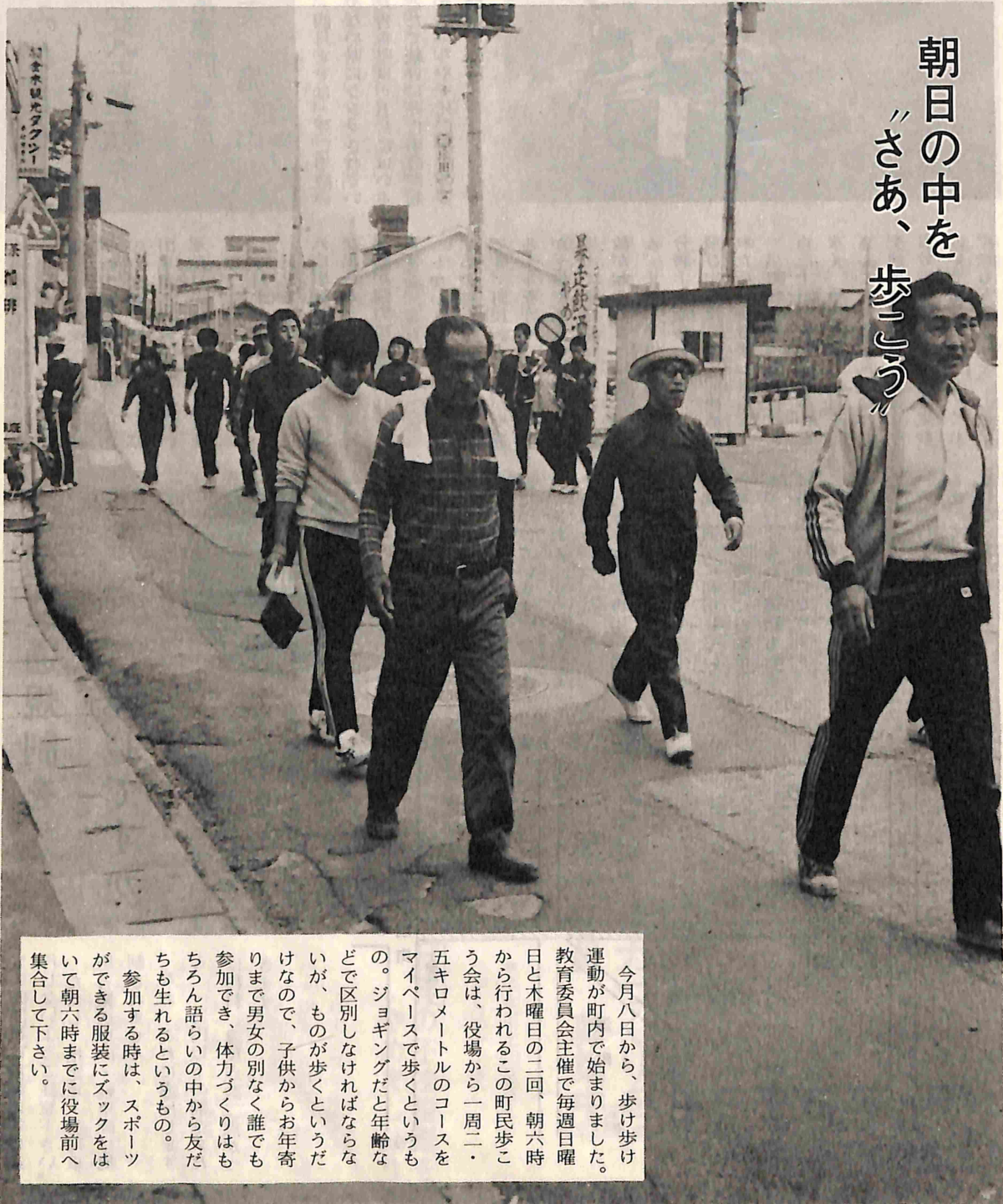
金木 だより

町の人口と世帯数

人口	男	7,237人
	女	7,478人
	計	14,715人
世帯数		3,902世帯

(昭和55年5月31日現在)

発行 青森県金木町役場 編集 企画室



朝日の中を
さあ、歩こう

今月八日から、歩け歩け運動が町内で始まりました。教育委員会主催で毎週日曜日と木曜日の二回、朝六時から行われるこの町民歩こう会は、役場から一周二・五キロメートルのコースをマイペースで歩くというものです。ジョギングだと年齢などで区別しなければならぬが、ものが歩くというだけなので、子供からお年寄りまで男女の別なく誰でも参加でき、体力づくりはもちろん語らいの中から友だちも生れるというものです。

参加する時は、スポーツができる服装にズックをはいて朝六時までに役場前へ集合して下さい。



ドライバーのみなさん くれぐれも安全運転を

県下一斉非常事態宣言

実施中

車は、わたしたちの生活から切り離せない身近な文明の利器となっておりますが、使い方をあやまると、悲惨な交通事故を起こす凶器となります。

四月までは、死亡事故の少ない県にランクされていた青森県は、五月にはいるとたて続けに死亡事故が起き、いちやく死亡事故の多い県に転落。

当町でも、昭和五十三年六月に起きた川倉湯の川の死亡事故以来、七百三十日間ほど死亡事故はないものの、交通三悪のスピードの出し過ぎ、無免許、酒酔い運転はいつこうに絶えません。

今月十二日から来月三十一日まで、県下一斉に交通死亡事故防止非常事態宣言が出され、交通事故の撲滅運動が強力に展開されています。

しかし、交通事故をなくするのは、やはり自分自身です。町民一人一人が交通ルールを守り、ドライバーが子供や老人に思いやりを持って車を運転すれば、事故が起こることはありません。また、子供や老人も自分勝手に道路を横切ったり飛び出したりせず、決められた所を歩きましょう。

当町の死亡事故ゼロは七百三十日で終わらせることなく、千日、千五百日を目指して、町民一丸となって交通事故を撲滅しましょう。自分の身勝手が事故を生むということをお忘れず、くれぐれも安全運転を。

この交通規制を

ご存じですか

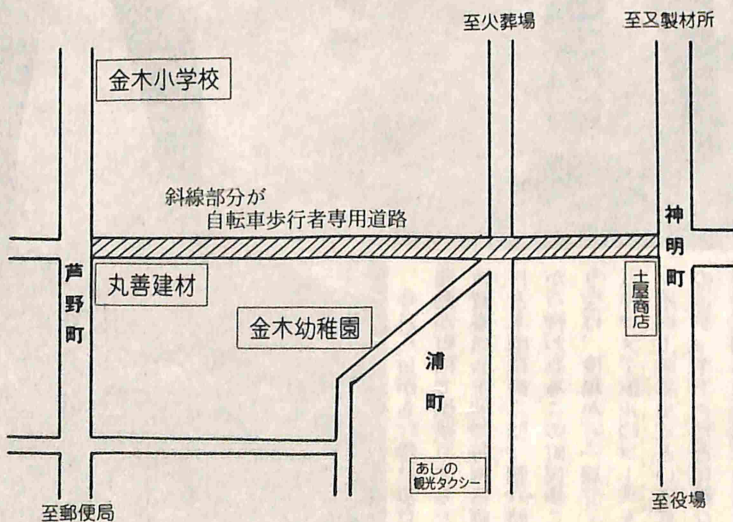


この規制標識を知っていますか。これは、神明町の土屋商店の横から小学校通りの丸善建材まで通じる道路についています。といえ、あれかと思う人もいます。

自転車歩行者専用道路の指定を示しています。この道路は児童や小・中学生が通園、通学に利用しているため、その時間に自動車等が通行すると、道路もせまく非常に危険になります。そこで今年四月から、この道路の交通規制が行われたいわゆる、寺町通りが一方通行となっていることもあって、なかなか守られていないようです。

子供らを交通事故から守るためにも、規制が行われる午前七時から八時三十分までと正午から午後三時まで

での時間帯は自動車等は通行しないようご注意ください。ただし、指定車・許可車患者搬送車両・軽車両は規制されません。なお、これに違反しますと、一万円以下の罰金または料、違反点数二点がつきます。



山師夢物語

「鬼権八」とは白川権八郎というサムライのような立派な名前の持ち主の異名である。彼の家は不動林にあって、忤を清という。どうしてこのような異名がついたのか、それはよくわからないが、鬼権八という呼び名にふさわしい胆の太い山師であった。

権八は大正の初め頃、忤の清を連れて朝鮮の金山に出稼ぎにいった。機嫌のよい時には朝鮮語を話して聞かせたりした。とにかく朝鮮から帰って来てからの彼は、すっかり金山に取り憑かれてしまい、近在の山々を歩き廻って金を探そうになつた。

やがて彼は小泊村の権現崎の岩山に金があるといひ出し、権現崎全山の発掘権の許可を取つた。

この権八と筆者の父とは大の仲よしで兄弟分である。

父は当時北海道の積丹のニシン漁場について帳場をやつていた。ニシン漁が終わり雇人夫が全部帰郷したあとの整理をして、それが終了すると自分も三ヶ月ほど家に帰るのである。そして大鰐の不二やに湯治にゆくのだつた。

父がある年、不二やにいった時に、不二やの主人が茶飲み話のついでに、「秋田の鉱山に行った時、金木町の白川某という人で権現崎の発掘権利を持つている方があるということを知りませんか」といふので、父はよく知つていふた。それで不二やの主人はそのうち一度会つて話をしたいといひ、父はそれを引き受けたのである。

晴れわたつた秋の日、不動林のわが家の前に一台の人力車がとまつた。二重マントを着た風采の立派な人が降りて来た。父は早速出迎えて家の中に入れた。この人が不二やの主人だつた。そこで父はすぐ不動林の下にある権八の家へ迎えを出した。そして不二や主人、権八、父の三人が話し合つて、翌日権現崎の山を見に行くことに決まつた。権八と父とは予め鉱山師を呼んで金木のねりや旅館に一泊させていたので、翌日は朝早くねりや常用の葛西の乗合馬車で一行が小泊の権現崎へいった。

その結果、不二や主人も大乗り気になつて、十六万円で権利譲渡という話になつたが、権八は思い切れず両者協同事業ということに決まつた。資本は不二やが持ち、利益金六分四分という条件である。

不二や主人は、その後も三回ほど来たようだったが、大正十二年九月一日の関東大震災が起こり、その震災で経済恐慌となつたため、不二や主人も莫大な資金がかかる発掘作業を見合せてしまった。それで権八の一生一代の大事業であつた金山の夢も、あつてなく消え去つたのである。

当時の十六万円という金額は大変なものだ。まさに天文学的数字なのだ。父は「あの時売り渡しておればよいのに、際限のない欲を起して、あのバガオヤジ」といつていた。だが、権八はいつかまたよい値がつく時が必ず来ると片意地をはつていた。

権八は権現崎から発見したというラジウムという石を宝のように大切にしていたといふ。筆者は見たことがないが、話によれば透明なもので、掌に入るような丸い形のものだと父がいつていた。これを体にあてると電気のようなものが伝はつて、難病も治る効果があるといひ、車力村の成田様の娘という人が権八の家に長くいて治療し、すっかり治つて帰つたと筆者の母も語つていた。この娘さんといふのが現車力村長成田佐太郎さんのおばに当る人とのことだ。

また、当時金木の名医といわれた三上先生が一万円で譲つてくれといつても、権八はとうとう手放さなかつた。世界でも幾らもないラジウムとは思われなかつたことだが、権八はあくまでもそうだと信じきつていたのである。

権八はこの権現崎金山の税金を納めつづけたので、とうとう身代を潰し、五十八才で世を去つた。しかし一生この一攫千金の夢を捨てなかつたのである。権現崎の金山はその後誰も口にする人もない。

現戸主白川清一さんは真面目な人柄で六十七才である。区会議員、不動宮代表総代、民生委員などをつとめ、信望のある町の有力者の一人である。

(「金木郷土史」より)

君も柔道で体力づくりを！ 柔道部員 募集中

金木町体育協会柔道部では、部員を募集しています。夏バテ予防や体力づくりに柔道を始めてみてはいかがでしょう。

練習は、毎週火・金曜日の二回、農業者トレーニングセンターの二階で、午後七時から九時まで行われています。無料で指導します。柔道着は各自で準備して下さい。

部員は、金木町に住所があればどなたでもなれますので入部希望者は、

●金本正三（部長）
金木町見崎町③2349

●金本正土②2648
へ申し込み下さい。

ゴミの不法投棄をやめましょう

これまでゴミを捨てていた火葬場わきのゴミ捨て場が、使用できなくなつたためか、最近、川などへゴミを不法に捨てている人がいます。自分一人が良ければと思つてしているのではありません。病気の原因となつたり、川下ではゴミ公害が起つていきますので、ぜつたにやめましょう。

災害発生の見見者は 直ちに通報を!!

台風や集中豪雨、豪雪、地震、津波などの災害は、いつ発生するかわかりません。

つい最近の五月十七日に黒石市にある昭和化学工業KK東北化成事業部黒石工場で、送油ポンプの切替ス

イッチの操作ミスによる重油流出事故があり、重油が

岩木川流域に流出したため建設省青森工務事務所、県流域周辺市町村等関係者が一体となって油汚染による被害防止のための応急措置を講じました。

このような応急措置の効果が見られれば、災害発生の際には、

災害発生の際には、迅速な伝達を図ることがなにより必要なことです。

災害発生や異常現象を見したら、まず通報！
通報先は、○町長 ○警察署 ○海上保安官 です。
このほかに、県庁や県の

出先等に通報されてもけっこうです。(異常現象とは例えば、堤防に小さな水もれがあり、放置すれば決壊するおそれがある場合、あるいは津波の前兆である海面の急激な低下等の現象をいいます。)

○県庁への休日・夜間の連絡。

(1)休日・夜間の場合、県庁には守衛室に専任の当直者が居り、災害情報の通報を受けたときは消防防災課長に連絡され、必要な防災対策が講じられることになっています。

(2)休日・夜間の電話番号(守衛室)

0177 (22) 4496
〃 〃 2025
〃 〃 2093
〃 〃 2201



出生

(五月分)

中村 絵美(勝義) 喜良市

黒川 知佳(正次) 〃

大橋 央明(良昌) 〃

西沢 祥美(清一郎) 金木

成田 静哉(進) 川倉

増田 匡紀(敏) 〃

秋元 寛之(弘昭) 金木

中川 悦子(満男) 喜良市

沢田 幸子(活) 嘉瀬

山田 麗奈(和雄) 金木

柳引 咲子(照明) 金木

原田 昇子(清孝) 中柏木

秋元ひとみ(忠) 金木

葛西 伸哉(博美) 喜良市

工藤 潤子(忠美) 川倉

吉田 朝美(公憲) 金木

成田 和則(登) 〃

白川 勇武(彰一) 藤枝

白川 元寛(富志博) 金木

山中恵理子(新) 嘉瀬

今 正秀(正博) 喜良市

白川 淳史(恆雄) 蒔田

松川 健二(忠二) 嘉瀬

今 祐子(芳夫) 喜良市

齊藤 学(鉄失) 嘉瀬

長尾 衣純(昭雄) 金木

荒関 香織(照雄) 〃

須崎 慎一(寛樹) 嘉瀬

秋元 希公(良一) 金木

田村 佳望(輝夫) 喜良市
小山内結美(一三三) 喜良市
山内粧映子(繁敏) 金木
山本 幸子(精一) 〃

結婚

(五月分)

津島 久孝(久五郎) 金木

阿久津早苗(照男) 東京都

泉田 浩二(喜三郎) 函館

荒関いづみ(政直) 金木

渡島 徹(敦) 長崎県

工藤 昌子(喜久夫) 金木

平田 育男(亮治) 柏木

高橋 昌子(哲夫) 金木

永田 貴史(休太郎) 千葉

今 泰み子(平農) 嘉瀬

岡田 久悦(茂美) 嘉瀬

岡安 初江(宗次郎) 埼玉

木村 文昭(清海) 嘉瀬

川村 敏子(義正) 中里町

藤崎 栄子(敏秋) 中里町

田中 馨(長一郎) 金木

藤崎 栄子(敏秋) 中里町

須崎 昭美(繁男) 嘉瀬

藤原きぬ子(喜左エ門) 岩手

澤田 昭(義常) 嘉瀬

野宮富士子(良一) 嘉瀬

鎌田 満礼(稲芳) 嘉瀬

今 愛子(政美) 中里町

吉田 誠夫(昌平) 八戸市

荒関 靖子(通義) 金木

新岡 五郎(清土) 喜良市

田島 好子(正義) 福岡県

死亡

(五月分)

仙場 ハナ(52) 金木

長尾新太郎(77) 金木

中村 良一(79) 金木

長尾 マツ(66) 金木

原田 揚一(34) 藤枝

竹内 義治(77) 藤枝

津島 ナリ(69) 金木

小笠原善太郎(87) 金木

工藤 サキ(68) 藤枝

岡田 道雄(51) 喜良市

田中 与助(84) 金木

中西 ヤヨ(70) 金木

白崎 忠光(39) 嘉瀬

木立 照瑠(61) 嘉瀬

芳賀 長(68) 金木

金沢 ソメ(83) 嘉瀬

今 悟(29) 喜良市

澤田 清次(55) 嘉瀬

原田竹之助(78) 嘉瀬

齊藤源三郎(78) 川倉

